

# 上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート

総合政策課

平成29年8月



## 基本目標

1. 町の資源を活かして、仕事をつくり、産業を盛んにする

上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI検証シート（具体的施策用）

基本目標 1. 町の資源を活かして、仕事をつくり、産業を盛んにする

基本的方向 (1) 民間企業の誘致による雇用の創出

担当課	重要業績評価指標 (KPI)							実績値を踏まえた事業の今後について		町創生本部としての評価				外部有識者からの評価・意見		本事業終了後における実績値					
	KPI	現状値	目標値				実績値	達成状況	要因分析	事業に対する効果	理由	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	理由	今後の方針	理由	事業の評価	外部有識者からの意見	実績値	事業効果
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度															
産業振興課	上里町企業誘致条例に基づく新規立地企業数	1社	0社	1社	1社	1社 (5年間の合計数・3社)	0社	—	企業誘致方法について検討を行い、企業誘致に適した活動方法を検討する必要があった。	—	目標値を設定していないため効果検証未実施。	③事業の継続 企業誘致によってもたらされる雇用創出、税収効果、転入効果、地域経済波及効果が期待できるため。	—	企業誘致方法等についての検討段階であるため。	③事業の継続 町の活力を生み出し、町内産業の発展につながるため。	①総合戦略のKPI達成に有効であった	次年度以降に向けての準備段階ということであるが、目標を達成するためにどのような努力をしているかが重要である。				

上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI検証シート（具体的施策用）

基本目標	1. 町の資源を活かして、仕事をつくり、産業を盛んにする
基本的方向	(2) 農業の担い手の確保

担当課	重要業績評価指標 (KPI)							実績値を踏まえた事業の今後について		町創生本部としての評価				外部有識者からの評価・意見		本事業終了後における実績値						
	KPI	現状値	目標値				実績値	達成状況	要因分析	事業に対する効果	理由	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	理由	今後の方針	理由	事業の評価	外部有識者からの意見	実績値	事業効果	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度																
産業振興課	新規就農者数	8人	10人	10人	10人	10人 (5年間の合計数・40人)	8人	②ほぼ達成 (70~100%未満)	新規就農者8人の内、4人が法人雇用により達成率が高まった。	②地方創生に効果があった	目標に対して、一定の達成率は示しているが、独立して農業経営する者の比率を高めた。	③事業の継続	目標値には達していないが、一定の効果があったと思われる。ただし、新規就農者を迎え入れる環境は充分とは言えず、給付金制度、土地、住宅を一つのパッケージとして考え、今後、検討する必要がある。	②地方創生に効果があった	目標値には届いていないものの、農業の担い手の確保につながった。	③事業の継続	目標値には達していないが、一定の効果があったと思われる。ただし、新規就農者を迎え入れる環境は充分とは言えないため、就農環境整備の方法について検討していく。	①総合戦略のKPI達成に有効であった				
産業振興課	農地中間管理事業実施面積（年間）	—	30ha	75ha	75ha	75ha	96ha	①大きく達成 (100%以上)	当初の見込みより、実施面積が増えたため、KPIとしては妥当である。	②地方創生に効果があった	目標値を上回り、効果があった。	③事業の継続	今後も目標値前後の面積をめぐりに実施して、担い手に集積していく。	②地方創生に効果があった	目標値を上回り、農地の有効利用と農業経営の効率化に効果があった。	③事業の継続	今後も意欲的な担い手への農地の集積を図り、農業振興につなげる。	①総合戦略のKPI達成に有効であった				

上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI検証シート（具体的施策用）

基本目標	1. 町の資源を活かして、仕事をつくり、産業を盛んにする
基本的方向	(3) 農業の6次産業化による「かみさとブランド」の確立

担当課	重要業績評価指標 (KPI)							実績値を踏まえた事業の今後について		町創生本部としての評価				外部有識者からの評価・意見		本事業終了後における実績値					
	KPI	現状値	目標値				実績値	達成状況	要因分析	事業に対する効果	理由	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	理由	今後の方針	理由	事業の評価	外部有識者からの意見	実績値	事業効果
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度															
産業振興課	6次化製品の開発数	—	1品	1品	1品	2品 (5年間の合計数・5品)	0品	③未達成 (70%未満)	6次産業化するうえでのノウハウが不十分であり、また、施設整備するうえで、相当な費用がかかること。	③地方創生に効果がなかった	上里町のブランド化につながるような6次化製品の開発には至らなかったため。	③事業の継続	農産物の生産、加工、販売を農業者が一貫して行う6次産業は非常に難しいため、生産を委託する等の手法で、「かみさとブランド」を生み出せないか、検討する。	③地方創生に効果がなかった	上里町のブランド化につながるような6次化製品の開発には至らなかったため。	③事業の継続	農業者が一貫して行う6次産業は難しいため、農協や商業関係者への委託等による手法も加味して、「かみさとブランド」創造の可能性について検討する。	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	・毎年1品を開発するということは非常に難しいが、未達成であっても、その過程で評価できる場合もある。 ・県との協力体制ができていない。		

上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI検証シート（具体的施策用）

基本目標 1. 町の資源を活かして、仕事をつくり、産業を盛んにする

基本的方向 (4) 企業家への支援

担当課	重要業績評価指標 (KPI)							実績値を踏まえた事業の今後について				町創生本部としての評価				外部有識者からの評価・意見		本事業終了後における実績値			
	KPI	現状値	目標値				実績値	達成状況	要因分析	事業に対する効果	理由	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	理由	今後の方針	理由	事業の評価	外部有識者からの意見	実績値	事業効果
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度															
産業振興課	創業支援事業計画に伴う補助金の交付	—	0件	0件	1件	1件 (5年間の合計数・2件)	0件	—	創業支援事業計画については、平成28年12月26日に国から承認を受けた計画であるため。	—	創業支援事業計画については、平成28年12月26日に国から承認を受けた計画であるため。	③事業の継続 本計画は平成29年1月4日～平成31年3月31日までの計画期間である。創業支援事業に対する認知度は決して高くないため、広報、HP等で周知を行い、創業を希望する者への支援を図る。	—	当該年度においては実施期間が短いことに加え、周知不足であったため。	③事業の継続 効果的に周知を行いながら事業を継続し、事業に対するニーズを把握する。	①総合戦略のKPI達成に有効であった					







































